

イントラ SSL Type-L2 利用者(Windows)移行マニュアル スプリットトンネル版

第 1.2 版(2026 年 7 月 31 日)

株式会社トヨタシステムズ

改訂履歴

日 付	版 数	改 訂 内 容
2026/7/11	1.00	初版作成
2026/7/23	1.1	ファイル名の変更
2026/7/31	1.2	「1.2 本書の適用範囲」文言の変更

目次

1. はじめに	3
1.1 本書の目的	3
1.2 本書の適用範囲	3
1.3 設定ケースについて	3
2. 利用までの流れ	4
2.1 イントラ SSL Type-L からイントラ SSL Type-L2 への移行について	4
3. イントラ SSL Type-L の(ID/パスワード)確認	5
4. 端末の設定	6
5. 初回ログイン	8
6. 証明書 DL ツール導入	11
7. 証明書のインポート	13
8. Global Protect インストーラーのダウンロード	20
9. Global Protect のインストール	21
10. パソコンの再起動	24
11. VPN 接続	25

1. はじめに

1.1 本書の目的

本書は、トヨタシステム株式会社が提供するイントラ SSL Type-L を利用する Windows 端末のユーザが、イントラ SSL Type-L2 に移行する際の移行マニュアルである。

Windows 端末のユーザが、サービス接続に必要なとなる証明書のインストール、クライアントソフトウェアのインストールなど適切な方法で実施できるようにすること目的とする。

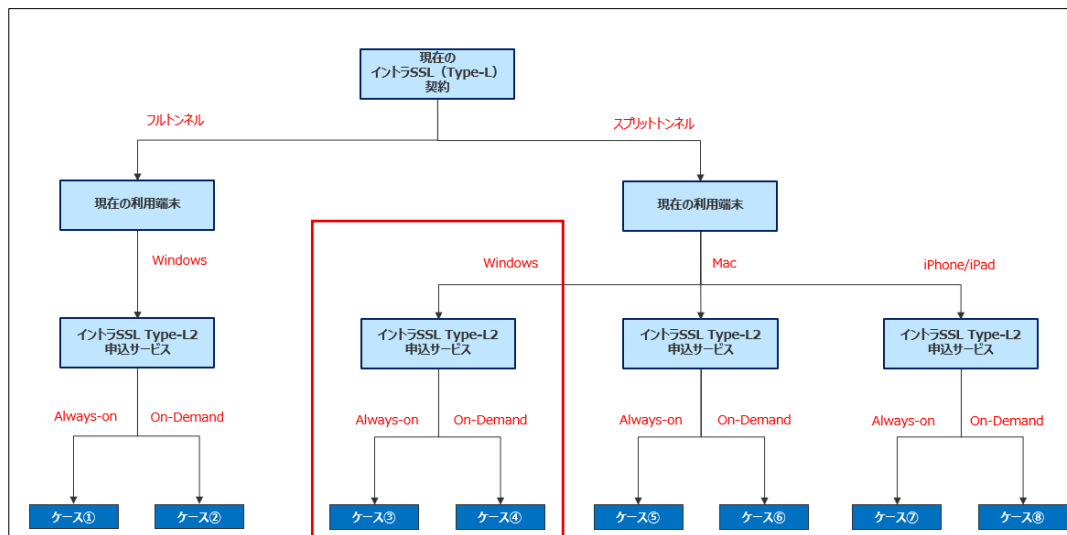
1.2 本書の適用範囲

現在イントラ SSL (Type-L) のスプリットトンネルを利用している Windows 端末においてのみ適用することとする。

なお、本書に記載する画面イメージのユーザ名・表示内容等はサンプルのため、実際の画面は利用環境・設定内容に応じた内容が表示されます。

1.3 設定ケースについて

現在のイントラ SSL (Type-L) の契約、および、利用するイントラ SSL Type-L2 のサービスによって、実施する手順が異なる。本手順書は下記のケース③④の手順書となります。



2. 利用までの流れ

2.1 イントラ SSL Type-L からイントラ SSL Type-L2 への移行について

下記の段階を経由することで移行が完了する。

また、イントラ SSL Type-L2 の認証方式は、ユーザ認証 (ID/PW) + クライアント証明書の多要素認証のみとなる。

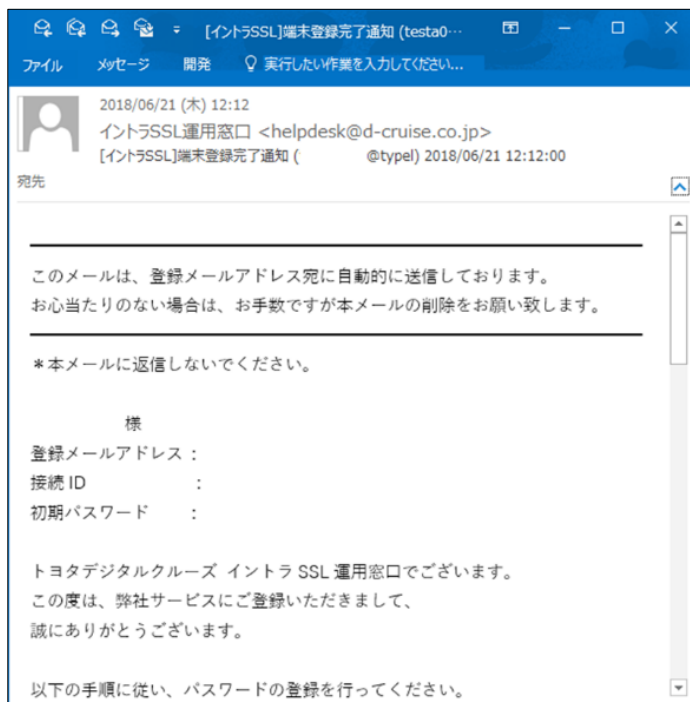
本書の項番	実施事項
3	イントラ SSL Type-L の (ID/パスワード) 確認
4	端末の設定
5	初回ログイン
6	証明書 DL ツール導入
7	証明書のインポート
8	GlobalProtect インストーラーのダウンロード
9	GlobalProtect インストール
10	パソコンの再起動
11	VPN 接続
—	アプリケーション接続

3. イントラ SSL Type-L の(ID/パスワード) 確認

端末登録完了通知メールから、現在利用しているイントラ SSL Type-L の ID をご確認ください。

※バックアップ作業が必要な場合に使用します。

送信元アドレス	イントラ SSL 運用窓口 <helpdesk@tns.toyotasystems.com>
宛先	利用者のメールアドレス
件名	[イントラ SSL]端末登録完了通知 (ID 名) YYYY/MM/DD hh:mm:dd



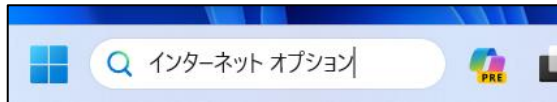
※メールサンプル



ご自身で設定したパスワードを忘れてしまった場合、法人管理者へ問合せを実施してください。

4. 端末の設定

事前にご利用端末が、以下設定となっていることをご確認ください。



(1) 検索の入力枠のところに「インターネット オプション」と入力し、インターネットオプションを起動。

※「インターネット」と「オプション」の間にはスペースをご入力ください



(2) 「インターネット オプション」が表示されたら、Enter を押下。



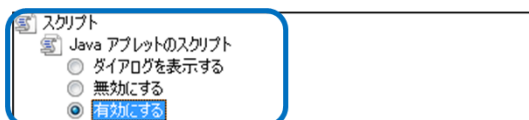
上記手順でインターネットオプションが出力されない場合は、Windows マークをクリック後、「inetctl.cpl」と入力して Enter を押下。





(3) Javascript が有効であること

[インターネットオプション]>[セキュリティ]>[インターネット]>[レベルのカスタマイズ]



[Java アプレットのスクリプト]>[有効にする]

5. 初回ログイン

(1) 端末登録完了通知メールを受信

本メールはお客様管理者が登録しないと送付されません。

メールが届かない場合はお客様管理者へお問い合わせください。

送信元アドレス	イントラ SSL 運用窓口 <helpdesk@tns.toyotasystems.com>
宛先	利用者のメールアドレス
件名	[イントラ SSL]端末登録完了通知 (ID 名) YYYY/MM/DD hh:mm:ss



※メールサンプル

(2) 端末登録完了通知のメール本文のリンクをクリックし、以下 URL へ接続

URL	https://l2-ua.toyotasystems.jp
-----	---

1. 以下 URL をクリック
<https://l2-ua.toyotasystems.jp>
2. 初期パスワード、新しいパスワードを入力し、パスワードの登録
3. パスワードの登録後は以下 URL からログイン
<https://l2-ua.toyotasystems.jp>

※メールサンプル

(3) 端末登録完了通知のメール本文に記載の「接続 ID」と「初期パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリック。

※認証ページ

※メール本文

(4) ログイン後の画面から「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワード(確認)」を入力し「Change」ボタンをクリック。

- ・現在のパスワード: 初期パスワード
- ・新しいパスワード: 任意 ※8 文字以上英数字又は記号
- ・新しいパスワード(確認): 同上



上記画像では「6 文字以上」となっていますが、右記手順通り「8 文字以上」が正です



以上で初期パスワード変更は完了です。ブラウザを閉じてください。

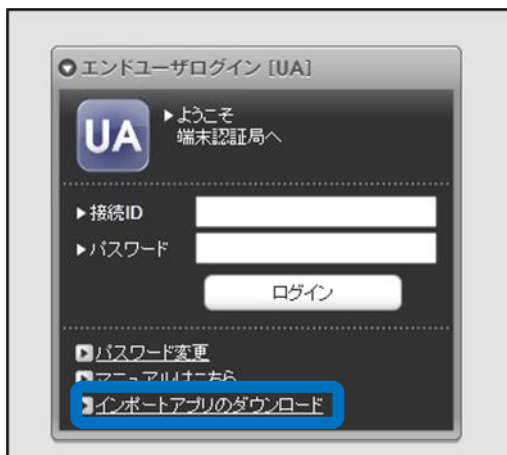
6. 証明書 DL ツール導入

(1)以下、URL へ接続

URL	https://l2-ua.toyotasystems.jp
-----	---



※接続後の画面



(2)「インポートアプリのダウンロード」をクリック。



(3)以下の画面に遷移するので、表示される手順に従って STEP1 から STEP9 までを実施。

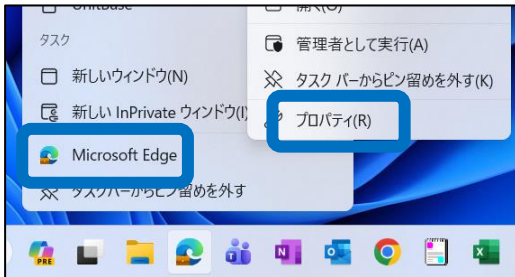


(4)最後に Edge の再起動を実施し、次の手順に進む

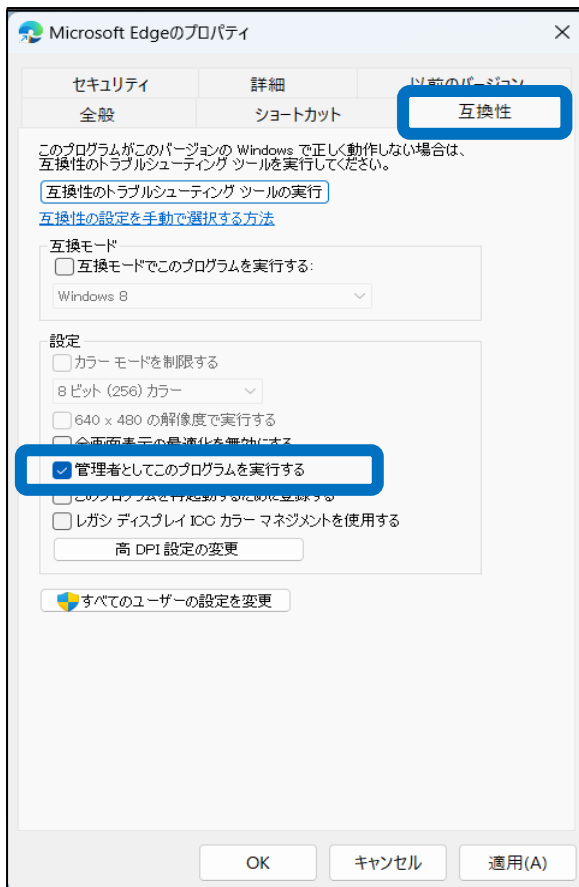
7. 証明書のインポート



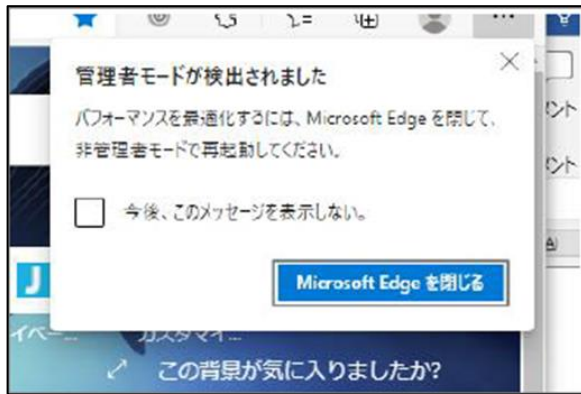
(1)タスクバーの Edge アイコンを右クリックする。



(2)下から 2 番目に表示されている Microsoft Edge を右クリックし、その後表示されるプロパティを押下する。



(3)プロパティの互換性タブにて
「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックし
「OK」をクリック



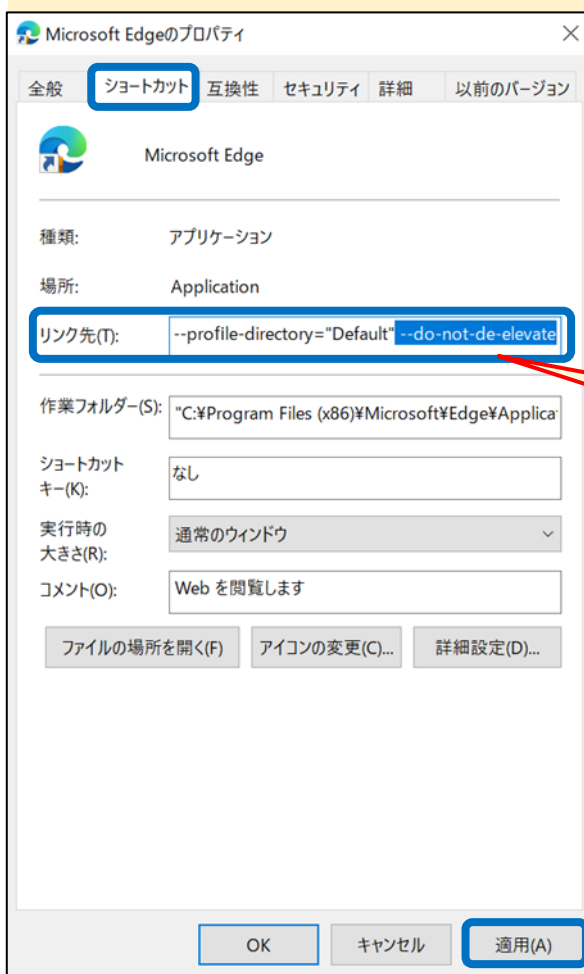
(4) Edge を起動してください。

※起動済の場合は、再起動してください。

読み込み開始されない場合、もう一度再起動してください。



上記設定後も Edge が管理者から実行できない場合、以下手順を実施ください



プロパティのショートカットタブにある「リンク先」の既存パラメータの一番後ろに「--do-not-de-elevate」

のパラメーターを追加後、「適用」をクリック

※注意※

「--do-not-de-elevate」を入力する際は、「半角スペース」を入力した後、「--do-not-de-elevate」をご入力ください
入力例)

「半角スペース」+ 「--do-not-de-elevate」

※注意※

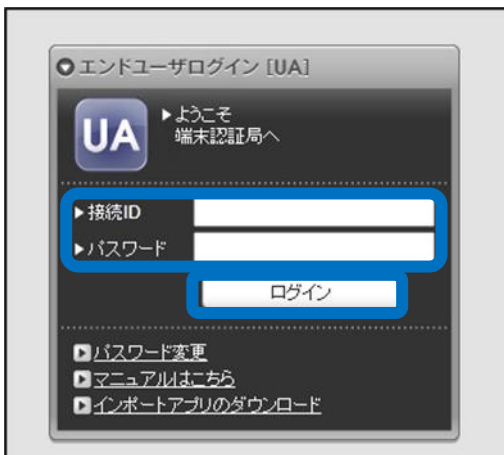
「--do-not-de-elevate」を入力する際に、必ず「半角スペース」を入力した後、「--do-not-de-elevate」を入力ください

(5)以下 URL へ接続。

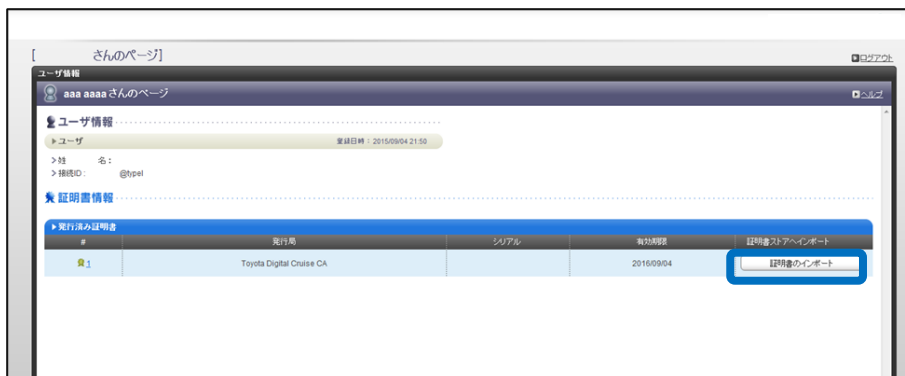
URL	https://l2-ua.toyotasystems.jp
-----	---



※接続後の画面



(6)「接続 ID」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリック。



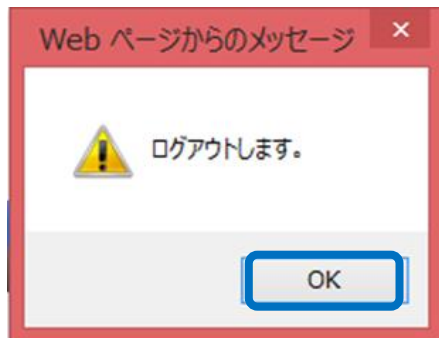
(7)ログイン後の画面から
「証明書のインポート」をクリック。



応答が遅い場合は、ブラウザを再起動することで解決する場合があります。



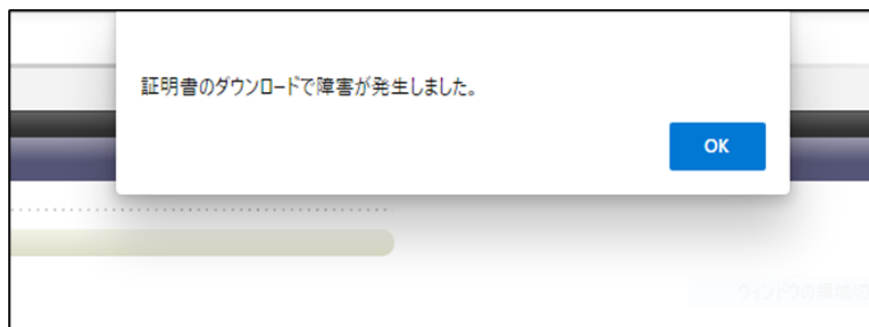
ポップアップメッセージが表示されるので「OK」をクリック



さらに、ポップアップメッセージの「OK」をクリック

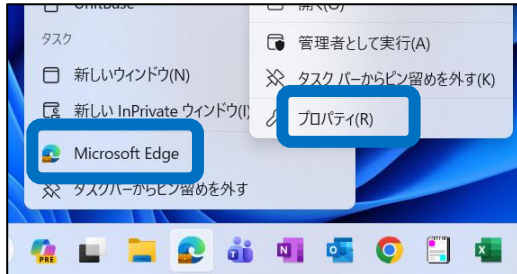


以下の画面が表示される場合、Edge の管理者権限が起動できているかを確認

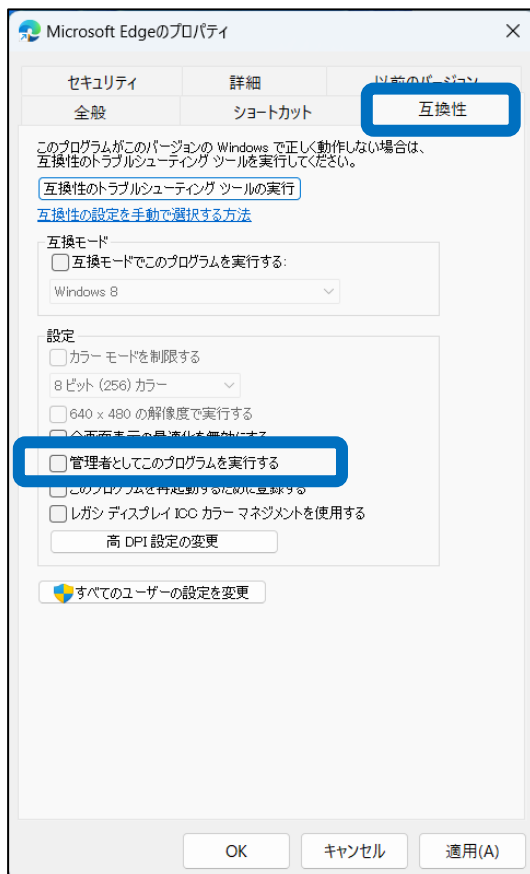




(8)タスクバーの Edge アイコンを右クリックする。



(9)下から 2 番目に表示されている Microsoft Edge を右クリックし、その後表示されるプロパティを押下する。



(10)プロパティの互換性タブにて

「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックを外し
「 OK 」をクリック

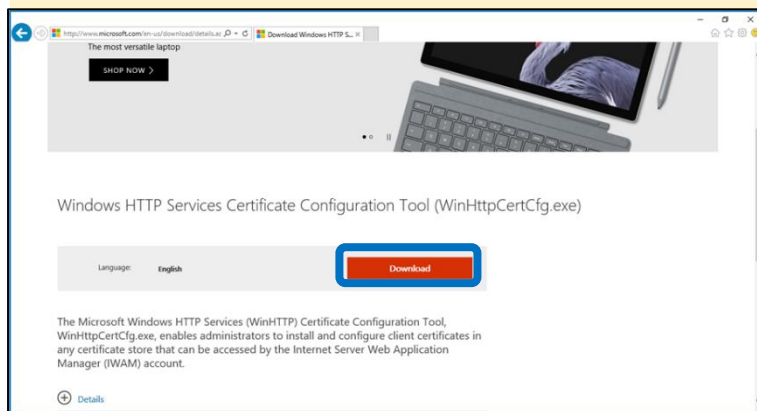
ご利用のアカウントに管理者権限が付与されていない場合、

以下の手順を実施してください。

管理者権限が付与されている場合は次のステップへ進んでください。

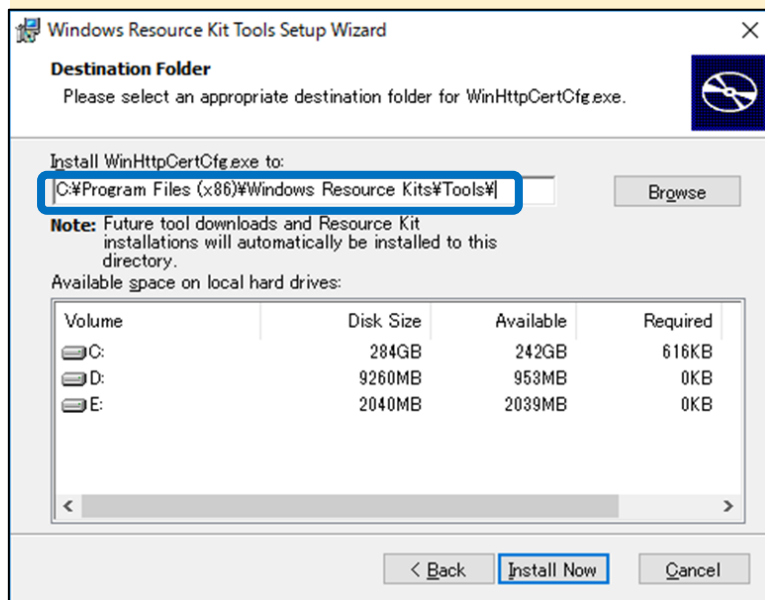
(11)以下 URL へ接続。

URL <https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=19801>



(12) Download をクリックし、
winhttpcertcfg.msi をダウンロード

※画面イメージは異なる場合があります。



(13) ダウンロードしたファイルを実行し、
WinHttpCertCfg をインストール

※以降の手順で使用するため、インストール
先のフォルダをメモしておいてください。

(14) コマンドプロンプトを管理者権限で実行

(15) 以下のコマンドを実行

```
cd [(13)でメモしたパス]
```

```
winhttpcertcfg.exe -g -c LOCAL_MACHINE¥My -s [証明書の名前] -a [PC のアカウント名]
```

※証明書の名前は接続 ID と同じです。

(実行例)

```

C:\Windows\system32>cd C:\Program Files (x86)\Windows Resource Kits\Tools\
C:\Program Files (x86)\Windows Resource Kits\Tools>winhttpcertcfg.exe -g -c LOCAL_MACHINE¥My -s [証明書の名前] -a PCのアカウント名
Microsoft (R) WinHTTP Certificate Configuration tool
Copyright (C) Microsoft Corporation 2001.

Matching certificate:
C=JP
S=Aichi
L=Nagoya
O="Toyota Digital Cruise, Inc."
CN=[証明書の名前]

Granting private key access for account:
[PCのアカウント名]

C:\Program Files (x86)\Windows Resource Kits\Tools>
    
```

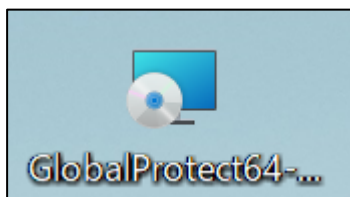
8. Global Protect インストーラーのダウンロード

(1) 以下 URL からサービスサイトにアクセスし、「VPN クライアントソフト(Windows 端末)」をクリックし、ダウンロードする。

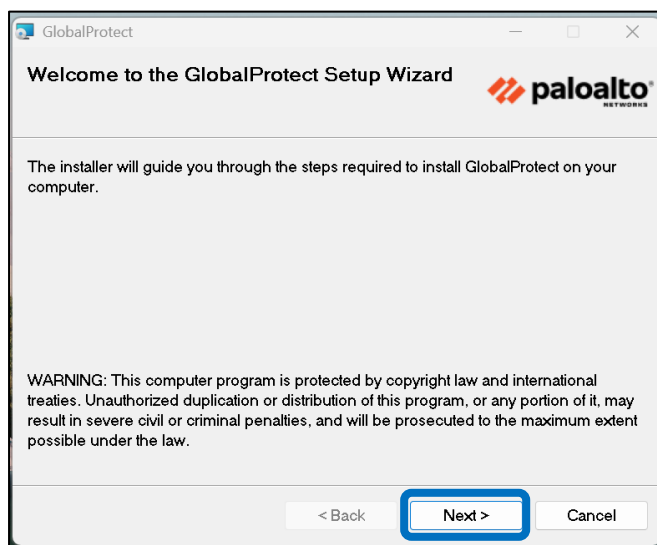
URL	https://www.toyotasystems.com/service/network/intra-ssl-l2/
-----	---

VPNクライアントソフト(Windows端末)	インストーラー >
-------------------------	-----------

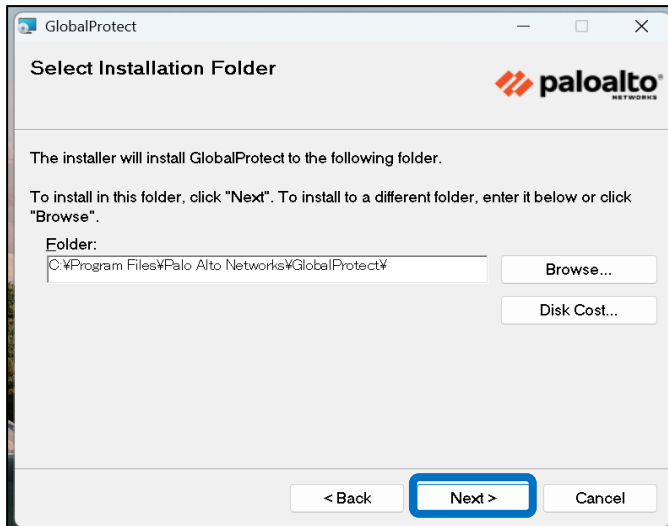
9. Global Protect のインストール



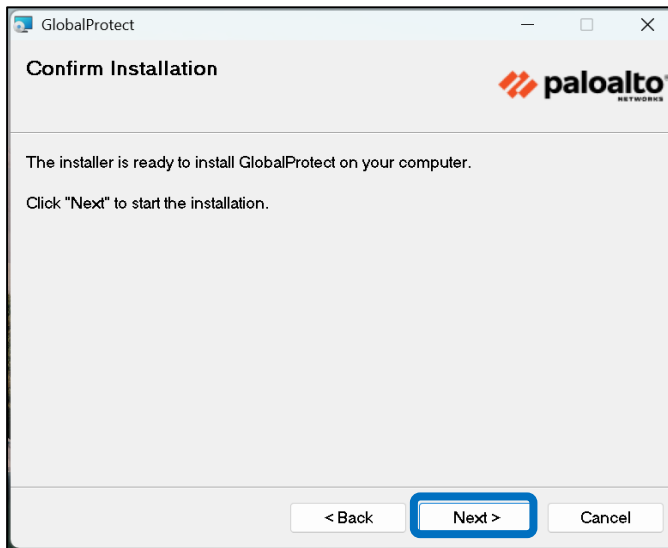
(1) 保存した Global Protect のインストーラーを実行



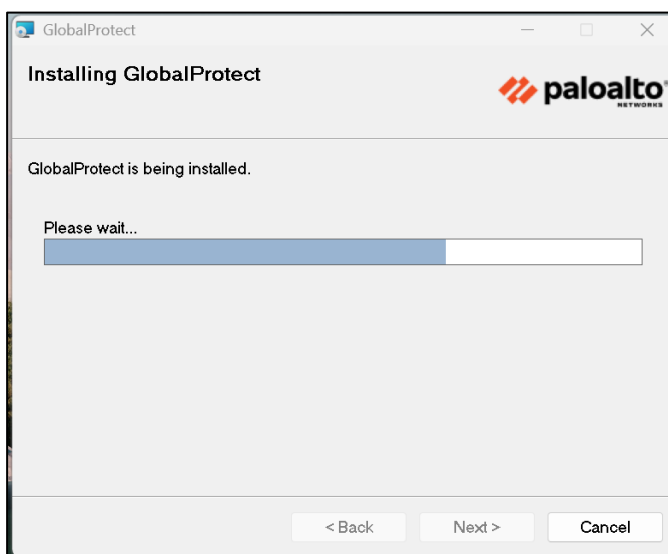
(2) 以下手順でインストールウィザードが実行される。
「Next」をクリック



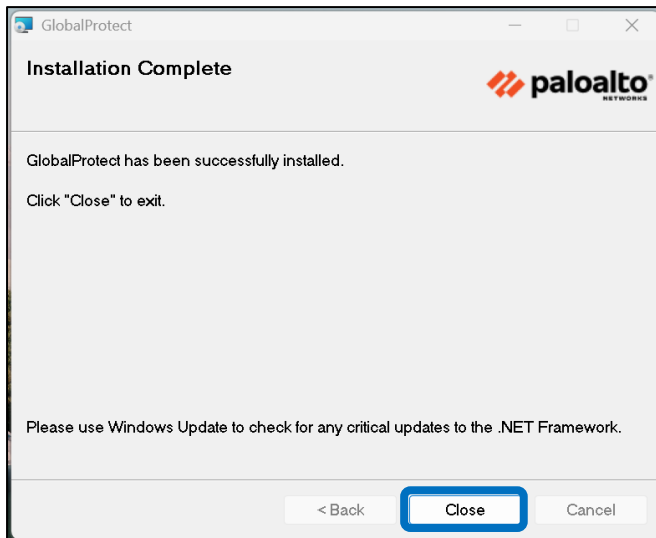
「Next」をクリック



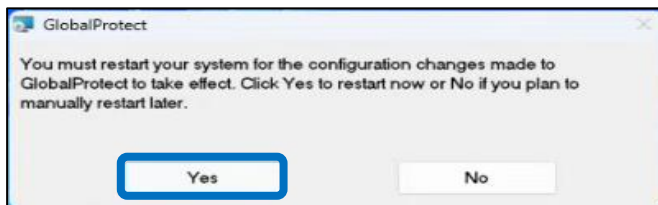
「Next」をクリック



インストールが開始されます



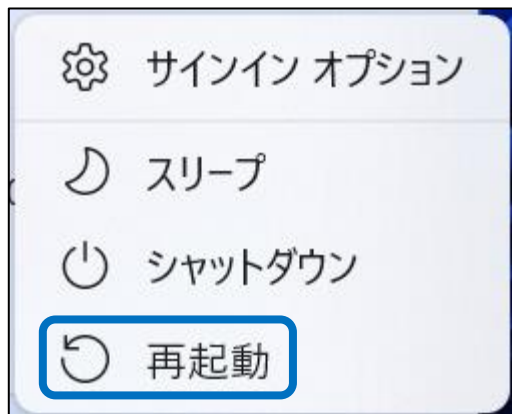
インストール完了後、「Close」をクリック



※再起動を要求するポップアップが表示された場合、「Yes」をクリックし、再起動を実行してください

以上で Global Protect のインストールは完了です。

10. パソコンの再起動



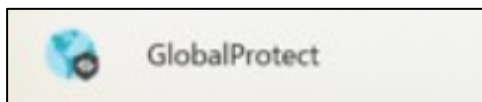
(1) パソコンの再起動を実行する

※GlobalProtect インストール手順で再起動を実施した場合は実行
不要です。

11. VPN 接続



(1) 「スタート」から「すべて」をクリック。アプリケーション一覧を表示



(2) 「Global Protect」のアイコンをクリック

(3) 「Portal(ポータル)」に以下情報を入力し、「接続」をクリック

URL(ATI 接続)	ATI.gpcloudservice.com
@pati ユーザはこちら	
URL(Wide 接続)	Wide.gpcloudservice.com
@pwide ユーザはこちら	

(4) 認証画面から「username」と「パスワード」を入力し、「接続」をクリック

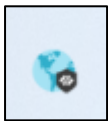
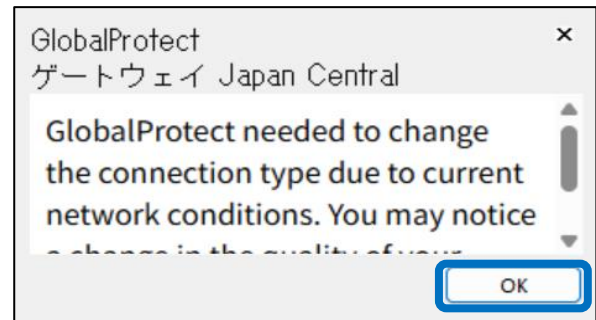
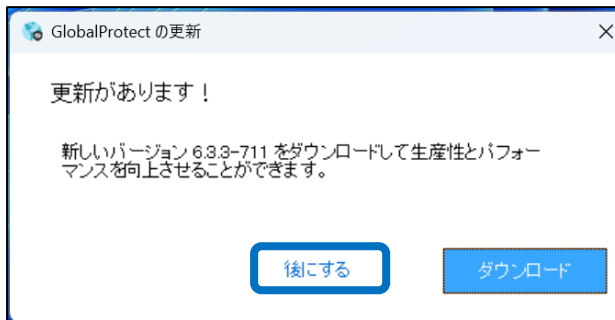
※手順 5 で確認したイントラ SSL Type-L2 用のアカウントでログインしてください（「username」欄に PC ログインユーザー名が表示される場合は、削除して正しいアカウント名を入力してください）



誤ったログイン情報を入力した場合、5 回失敗すると一定時間ログイン出来なくなるためご注意ください



接続中、以下ポップアップが表示された場合はダウンロードを選択せず、「後にする」、「OK」をクリックしてください。



(5)タスクバーにアイコンが表示されます



(6)アイコン上でクリックすると「接続済み」と表示されます。

以上で接続は完了です。アプリケーションをご利用ください。